

茂原市自治基本条例を考える市民の会 第29回会議 概要

開催日時	平成25年5月23日(木) 18時～
開催場所	茂原市役所502会議室
出席者	実行委員会委員30名(うち13名所用のため欠席) 事務局(鶴岡企画政策課長、花沢企画政策課主幹、風戸企画政策課主査)
会議次第	1.開会 2.あいさつ 3.議題 (1) 条例づくり分科会について (2) その他 4.閉会
会議要旨	3.議題 (1) 条例づくり分科会について 【事務局】 ・自治基本条例だよりNo.11(6/6発行分)について、5/14の運営委員会において協議し、本日配布した。ご意見があればお寄せいただきたい。 ・いろいろな形で市民の会に対してご意見が寄せられている。委員各位にはご承知おきいただきたい。 ・各分科会で温度差があり、言葉・用語は総則に入れて統一したい。それぞれで用語集をつくり、運営委員会で一本化を図る。 ・9月末に市長へ提言書を提出するとして、8月31日に市民フォーラムを開催する。ここから逆算して、7月中には各分科会の取りまとめを行い、8月のフォーラム、9月の提出とつなげてまいりたい。 Q.低投票率を「低体温」と比喻するのはいかがか。マイナスイメージを助長しないか。 A.まち全体の投票率が低かったことを表現したかった。無関心層が増えていることを表現したい。 Q.重みつき分析について、候補者は1番目に掲げた項目とそれ以降の項目で重みを分けているわけではないのではないか。 A.候補者ごとに聞いてはいないので、あくまでも独自の調べとして出したもの。 Q.重みつきは難しいので、単に数の集計のほうが単純でいいのではないか。 A.集計をやり直して報告する。 【分科会ごとのグループワーク振り返り】 ○A分科会(議会) 言葉の定義を再確認した。「市民」と「住民」の使い分けについては、認識が

一致した。総則で定義したい。

各分科会にまたがる情報や市民参加については、共通する部分は整理できるが、議会に関すること（議会への市民参加、議会の情報公開など）は残さざるを得ないと考えている。

○B分科会（行政）

2月19日の話し合い以降、進んでいなかった。

総則がきちんと決まらなると決めにくいという印象がある。

フォーラム前の資料を全員で見直しした。このままでいいかどうか、次回までに自分たちの考えを入れたものを出し合って検討し直すこととする。

○C分科会（地域自治・市民）

次回までに定義と各分科会の比較表をきちんとする。定義については、8つの項目のうち4つまでは決まった。

それぞれが宿題として自宅に持ち帰り、次回までに検討する。

【代表】

つぎはぎでつくっているの、一つに合わせてみたら違和感が生じるかもしれない。全体での調整を行う必要があるが、それは運営委員会で行いたい。

次回の全体会は6月4日だが、その翌日の6月5日は6月議会の開会日。新議員にとって初めての議会となる。積極的に本会議を傍聴されたい。